

令和6年度 学校だより

# あくのうら 4月

ホームページ [www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/](http://www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/)

令和6年4月11日

長崎市立飽浦小学校

発行 校長 松尾 伸章

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ (高浜虚子)」

春になりました。春風とともに、チューリップ、芝桜、桜、つつじ・・・と、次々と花が咲いています。見渡す山にも輝きが戻ってきました。そして、学校には、子供たちの歓声と笑顔が学校に戻ってきました。8日始業式の日、4年生に転入生1名を迎え、昨日10日入学式で、新1年生11名を迎えて、全校児童60名で、令和6年度の飽浦小学校が新たにスタートしました。

60名の子供たちの健やか成長のため、今年度も、職員一同、全力で頑張っていきます。どうぞよろしくをお願いします。

今年度も、「**えがおいっぱいの子ども**」の育成を目指したいと思います。学校教育目標及びめざす児童像を以下のとおりとしました。飽の浦小学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

【学校教育目標】

『主体的に学び、健やかな心と体を育む「えがおいっぱいの子ども」の育成』

【めざすあくのうらっ子の姿】

- ㊦ ったかでやさしい子
- ㊧ ふうしながら主体的に学ぶ子
- ㊨ びのびとした元気な子
- ㊩ つくしい心を育む子
- ㊪ んらんと輝く目でチャレンジする子

令和6年度は、新しく2名の職員が着任しました。その着任式とその後の始業式では、6年生が代表であいさつを立派に述べました。スタートから大活躍です。さすが、飽浦小学校のリーダーです。

【着任式児童代表あいさつ】

先生方、ようこそ飽浦小学校へいらっしゃいました。飽浦小学校は、笑顔いっぱいの学校です。そして、人数は少ないけれど、元気いっぱいの飽浦っ子ばかりです。だから、先生方もすぐに飽浦小学校のみんなと仲良くなれると思います。さらに、飽浦小学校からは、ジャイアント・カンチレバークレーンという世界遺産を見ることができる素晴らしい学校です。このように、飽浦小学校も、その子供たちも、すぐに好きになってもらえると思います。これから、よろしくをお願いします。(6年S.S)

【始業式児童代表あいさつ】

「こんな6年生になる」

私は、みんなにやさしく、でも「ダメなことはダメ」と伝えられる6年生になりたいです。そのためには、まず自分が決まりを守り、みんなの手本になる6年生になります。その1つ目は、時間を見て、先を見通して行動することです。2つ目は、自分から進んであいさつをすることです。最後に、何事もあきらめず、粘り強く6年生になることです。だから、苦手な教科も「やりたくない」とは思わず、「少しでもがんばろう」と前向きに考えて、やる気を出してがんばろうと思います。これからの目標に向けて、一生懸命いきます。(6年O.N)

## 【令和6年度 飽浦小学校入学式】

4月10日(水)、令和6年度 長崎市立飽浦小学校入学式が行われました。久しぶりに、桜の花びらも残る中で、保護者の皆様、ご来賓の皆様にもたくさんご臨席をいただき、素敵な入学式ができました。うれしいことに、今年度は11名の子が入学しました。1年生が入場してくると、会場がぱっと明るくなり、みんな笑顔になりました。1年生は、緊張しながらも、呼名に対してきちんと応答し、在校生の方を向いて一礼をしました。新しい学校生活に胸を膨らませている様子が伺えました。

これから飽浦小学校の一員として、学校の生活リズムを身に付け、学習に遊びにとがんばってくださることでしょう。どうぞ、11名のぴっかぴっかの1年生をよろしくお祈りします。

## 【4月の行事予定】

- 8日(月) 着任式 始業式
- 9日(火) <午前中4時間給食なし下校> 入学式準備・会場設営 ピースデイ
- 10日(水) 入学式 給食開始(2~6年)
- 11日(木) 委員会活動 育友会新旧評議員会
- 15日(月) 1年生給食開始
- 16日(火) 尿検査① 身体測定(4~6年) <午前中5時間給食後下校>児童宅確認日①
- 17日(水) 身体測定(1~3年) <午前中5時間給食後下校> 児童宅確認日②
- 18日(木) 学力調査(3~6年) 代表委員会・ボランティア活動
- 19日(金) 避難訓練
- 21日(日) 家庭の日
- 22日(月) 体力テスト(4~6年) 地区児童会
- 23日(火) 全国学力調査質問紙(6年オンライン)
- 24日(水) 尿検査② 授業参観・懇談会 育友会総会
- 26日(金) 歓迎集会・遠足
- 29日(月) 昭和の日

## 《校長室の窓から》

「1回でも存在感が際立つのが飽浦小の『起重機』。校舎のそばにクレーンが並ぶ造船所がある。〈いささかも労を惜しまず 起重機の重さに耐うる心もて〉」(長崎新聞より一部抜粋)

2024年3月29日金曜日の長崎新聞の社会ページに掲載された記事です。長崎新聞では、長崎市立小67校の歌詞を分析していました。その中で、長崎らしい単語として「鶴の港」や「平和」などがありましたが、「起重機」は、本校の校歌のみが使っている、1回しか出てこなかった特別な単語だったそうです。ちなみに、頻出単語ランキングで、名詞の1位は「われら」(70回)、動詞の1位は「輝く/学ぶ」(21回)、形容詞の1位は「高い」(31回)でした。

飽浦小職員として何とも誇らしい、ありがたい記事でした。伝統ある本校の校歌を、今一度、見つめ直すことができました。未来をつくる子供たちを教育する私たち教職員の仕事は、たいへんな重責を担っています。その重責を再認識し、その重責に耐うる心をもって、今年度も全力でがんばっていききたいものだと、校長室の窓から春の生き生きとした景色を眺め、心を新たにしています。